

2019/12/16 (月)

朝の礼拝

聖書 ヨハネによる福音書 1章1～5節 (新約聖書163頁)

1 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。2 この言は、初めに神と共にあった。3 万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。4 言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。5 光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。

天からの知恵

今、お読みしたのはヨハネによる福音書の冒頭の箇所です。マタイやルカの誕生物語 (クリスマスの聖書箇所) では天使、ヨセフ、マリア、羊飼、羊、三人の博士などの人物、動物が登場します。しかし、ヨハネは「言 (ことば)」、「命」、「光」、「暗闇」などのイメージで救い主誕生をあらわしています。

特に「言」は造語です。原文のギリシア語では“*λόγος* (ロゴス)”です。一般には「言葉」「理性」と訳されますが、人間が経験から得られる言葉ではなく、神様から与えられる「知恵」というイメージです。その意味が強調されるために「言 (ことば)」の一文字で訳されています。

さらに4節に「言の内に命があった」と表現されています。目に見えない天からの知恵に命があったとなります。イエス様のご生涯のことです。イエス様は光として輝き、暗闇に住む人々を照らし、救いの道へと導いて下さいました。イエス様のご生涯そのものに神様の愛があらわれたのです。

そこで、最後に「言」を「愛」に置き換えて読んでみます。「初めに愛があった。愛は神と共にあった。愛は神であった。この愛は、初めに神と共にあった。万物は愛によって成った。成ったもので、愛によらずに成ったものは何一つなかった。愛の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。」

しばらく黙祷しましょう。

祈禱 祈りましょう

私たちを愛し、励まされる主よ。

あなたは愛するひとり子をこの世にお遣わしになり、そしてあなたは暗闇にある人を愛し、互いに愛し合うように励まされました。

どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、あなたの祝福のうちに歩ませて下さい。主イエス・キリストの御名によってお願い致します。㊤㊤アーメン